

# **Strategic Reading for Global Information**

情報社会を読み解く総合読解スキル

by

**Eiichi Yubune**

**Ayako Nakai**

**Machi Arai**

**Kenji Hitomi**

**Bill Benfield**

***S* SEIBIDO**

写真提供

akg-images/アフロ  
AP/アフロ  
iStock

### 音声ファイルのダウンロード/ストリーミング

CD マーク表示がある箇所は、音声を弊社 HP より無料でダウンロード/ストリーミングすることができます。下記 URL の書籍詳細ページに音声ダウンロードアイコンがございますのでそこから自習用音声としてご活用ください。

<http://seibido.co.jp/ad640>



## Strategic Reading for Global Information

Copyright © 2022 by Eiichi Yubune, Ayako Nakai, Machi Arai, Kenji Hitomi, Bill Benfield

*All rights reserved for Japan.  
No part of this book may be reproduced in any form  
without permission from Seibido Co., Ltd.*

## はしがき

---

現代のような高度情報化社会では、インターネット上の膨大な情報を短時間で効果的に処理できる能力が求められます。英文を正確に読めたとしても時間が掛かっては多くを読むことはできません。また、末梢な情報、個々の事実、客観性の低い情報を手当たり次第に読んで記憶するような読み方は非効率です。膨大な文字情報の中から情報の本質を把握する力が必要とされています。

本書は、このような情報社会で活躍する人材が必要とする「実用的」な英文理解スキルの習得を目的としています。具体的には、スキミングやスキミングといったパラグラフレベルでの実用的速読スキル、背景知識を使った推論や予測を前提とした読み方、チャンキングによる速読スキル、要約を前提とした読みなどの読解方略を習得します。さらに、本書後半では、実用的な英文で典型的に用いられる「パラグラフ構造パターン」に着目し、それらに特徴的な論理展開とつなぎ語の知識を英文理解に役立てることを習得します。

本書が扱う英文素材は、インターネット、クラウド、IoT、メディア文化、環境問題、スポーツ、健康等に関する近年のグローバルニュースを情報ソースにしています。各ユニットの最後には、本文の要約文を完成させた後、チャンクに区切って音読練習をすることができます。読んで理解して終わるのではなく、その内容の本質を英語で発信するための橋渡しのタスクとなるでしょう。

最後に、本企画の立案から細部に至るまでの編集作業で大変お世話になりました、成美堂編集部の中澤ひろ子氏に、心より感謝を申し上げます。

2021 年初夏

著者一同

## 本書の使い方

本書は各ユニットが4ページ構成になっています。以下の流れに従って学習しましょう。

### Before Reading

Reading Passage の内容に関連したトピックをあなた自身の問題として考えさせる問題です。ペアやグループで発表するとよいでしょう。本文内容の背景知識（スキーマ）を活性化させて、理解の助けにしましょう。

### Vocabulary for Reading

Reading Passage に出現する語彙のうち、リーディング・コミュニケーションにおいて重要かつ応用範囲の広い語彙の意味を事前選択肢から確認するタスクです。

### Skimming the Passage

用意された質問に日本語で答えましょう。質問の番号は本文のパラグラフ番号と符合しています。質問の答えは各パラグラフの主題 Main Idea またはそれに準じる情報になっていますので、これらの質問に答えるだけで、本文全体を「すくい読み」skimming することができます。これから初めて読む文章の概要を掴むことを意識するため、設問は本文よりも前に配置されています。授業の予習にも活用できます。

### Reading Passage

本文の趣旨をパラグラフごとに整理していきます。Unit 1～8 は、それぞれの読解方略 Reading Strategy を意識しながら読む練習です。Unit 9～15 は、パラグラフ構造別になっています。トピック・センテンスを探し意味を確認したり、展開部の構造を図式化したり、パラグラフごとに大意を発表したり、つなぎ語を意識しながらパラグラフ単位で意味と構造を掴む練習をしましょう。

### Reading Strategy

Unit 1～8 では、コミュニケーションとしてのリーディングに必要な読解方略 Reading Strategy を身につけるための練習問題が用意されています。問題を解きながら、英文理解の仕方、すなわち How to Read を体得できます。なお、Unit 3 では、内容を予測 Predicting しながら読むという読解方略上、Reading Passage の前にも Reading Strategy の問題が配置されています。

### Paragraph Close-up

Unit 9～15 では、そのユニットで取り上げられている「パラグラフ展開パターン」、すなわち、「主題文」Topic Sentence の内容、「支持文」Supporting Sentences の展開の仕方、特徴的な「つなぎ語」Connectives / Signal words などに着目しながら、パラグラフ単位で意味内容を吟味していきます。

### Comprehension

読解方略やパラグラフ構造とは別に、本文の内容（概要や詳細事実）に関する情報を True or False 形式で確認するタスクです。False の場合、どこが違うのか指摘しましょう。

### Story Retelling

本文のあらすじに関連する4枚のイラストを手掛かりに、本文の概略を自分の言葉で表現するタスクです。最後の Summary は本文の要約文を用いて、チャンクごとに音読したり、速和訳する訓練を行うのに対し、ここでは、「話す」スキルを意識して、本文の内容を分かりやすい口語表現で伝えることを目的としています。

## Summary

最後に、本文全体の要約文を用意しましたので、本文で使われているキーワードやその Unit のパラグラフ構造に特有な「つなぎ語」を選んで、要約文を完成させましょう。出来上がったら CD 音声を聞いて答えを確認します。最後に英文を音声に合わせて音読してみましょう。内容はすでに理解できているので、意味のまとまりを意識しながら、聞こえてきた音声の通りに、スラッシュで区切られたチャンク単位で反復音読したり、一緒に読んだり、日本語に訳してみましょう。ペアワークでスピードを競うと良いでしょう。

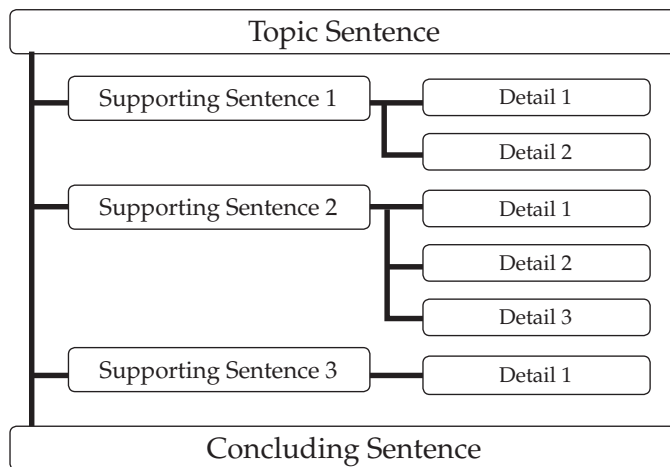
## Vocabulary Corner

Reading Passage のトピックに関連性の強い語彙を取り上げて、語義、用法、背景などを紹介したり、関連語を一挙に紹介することで、より深い語彙知識へと発展させる「コラム」のようなコーナーです。

## Paragraph とは

パラグラフとは、書き手が伝えたい情報を一つの Main Idea（主題）に基づき、複数の文を論理的に繋げて提示したものです。主題は Topic Sentence で提示されます。主題はさらに複数の Supporting Sentences（支持文）によって展開されます。一つの支持文はさらに Details（詳細な支持文）によって展開されることがあります。このようにパラグラフは「構造」を持っており、構造を理解することは文意を掴む助けになります。さらに、長めのパラグラフの最後には Concluding Sentence（結論文）が置かれることも多く、Topic Sentence の内容を補強して言い換えた文が用いられます。

以下の図は、パラグラフ構造の概念図です。支持文の数や詳細文の有無と数はパラグラフによって大きく異なります。



パラグラフ構造のイメージ

## Topic Sentence とは

トピック・センテンス（主題文）はそのパラグラフの本質を一文に凝縮したもので、「展開」することで具体性を帯び、読み手にとって理解しやすい情報に還元されます。主題文は Topic（話題）「何が」と Assertion（主張）「どうした」に分けられます。

主題文は、ふつうパラグラフの冒頭またはその付近に置かれています。このように、英語では伝えたい情報の要点を先に述べ、後から説明を加えていくのが一般的です。逆に、結論を後回しにする日本式の文章は、膨大な情報が飛び交うネットの時代には非効率です。Google などの検索サイトでも一番上に来ることに意味があります。映画や小説のような大どんでん返しは、最後まで観賞することを前提としたエンターテインメントの世界ならではの話です。よって、本書のようなニュース記事を基にした文章や学術論文などでは、特別な意味が無い限り、主題文はパラグラフの冒頭付近にあると考えていいでしょう。

# Contents

## Part 1

<b>UNIT</b> <b>1</b>	<b>Steve Jobs</b> ..... 9 Skimming まずはザックリ読んでみよう！
<b>UNIT</b> <b>2</b>	<b>Guggenheim Museum and Online Art</b> ..... 14 Scanning 必要な情報だけを検索しよう！
<b>UNIT</b> <b>3</b>	<b>High-tech Robot to Milk Cows</b> ..... 19 Predicting 予測を立てよう！
<b>UNIT</b> <b>4</b>	<b>IT for Schools in the UK</b> ..... 24 Using Background Knowledge 背景知識を活かそう！
<b>UNIT</b> <b>5</b>	<b>Powerchair Football</b> ..... 29 Chunked Reading チャンクで理解しよう！
<b>UNIT</b> <b>6</b>	<b>The Culture of Cosplay in Asia</b> ..... 34 Topic Sentence and Supporting Sentences 主題文と支持文を見つけよう！
<b>UNIT</b> <b>7</b>	<b>Leading-edge Technology for Athlete Training and Health</b> ..... 39 Summarizing 要約して記憶しよう！
<b>UNIT</b> <b>8</b>	<b>Digital Detoxing</b> ..... 44 Review for Part 1

## Part 2

UNIT <b>9</b>	<b>Abbey Road</b> ..... 49 Time-order Paragraph 時間軸に沿って読もう！
UNIT <b>10</b>	<b>Biofuel</b> ..... 54 Comparison and Contrast Paragraph 比較して理解しよう！
UNIT <b>11</b>	<b>NY High Line</b> ..... 59 Cause and Effect Paragraph 因果関係を理解しよう！
UNIT <b>12</b>	<b>The Science behind Falling in Love</b> ..... 64 Process Paragraph 手順と過程を理解しよう！
UNIT <b>13</b>	<b>On the Forefront of Alzheimer's Disease</b> ..... 69 Classification Paragraph 分類の基準を理解しよう！
UNIT <b>14</b>	<b>Laughter Yoga</b> ..... 74 Illustration Paragraph 具体例で理解しよう！
UNIT <b>15</b>	<b>Obesity among the More Affluent in India</b> ..... 79 Review for Part 2





# Steve Jobs

## Reading Strategy: Skimming

まずはザックリ読んでみよう！



### Before Reading

1. Do you use an iPhone or another smartphone? Why?
2. What do you know about Steve Jobs?



### Vocabulary for Reading



1-02

Choose the Japanese translation for each word.

- |                   |                 |
|-------------------|-----------------|
| 1. adopt          | 6. conventional |
| 2. trait          | 7. whiz         |
| 3. gadgetry       | 8. fascinated   |
| 4. bold           | 9. mainframe    |
| 5. self-assurance | 10. component   |

- |           |          |          |        |               |
|-----------|----------|----------|--------|---------------|
| a. 達人・オタク | b. 魅了された | c. 自信    | d. 部品  | e. 型にはまった     |
| f. 養子にとる  | g. 片鱗    | h. 小型機器類 | i. 大胆な | j. 大型汎用コンピュータ |



### Skimming the Passage

Read the passage and answer the questions. Each question number corresponds to the numbers of the following paragraphs.

1. What was unique about Jobs's birth?
2. What was Jobs like when he was a child?
3. How was Jobs different from ordinary college students?
4. What had Jobs realized about the computer market?



## Reading Passage



1-03, 04, 05, 06

**1** Steve Jobs was born on February 24, 1955, in San Francisco, California, and was adopted by Paul and Clara Jobs. Paul Jobs was a machinist and fixed cars as a hobby. Jobs remembered his adoptive father as being very skilled at working with his hands. In 1961 the family moved to Mountain View,  
5 California, which was becoming a center for electronics. At that time people started to refer to the area as “Silicon Valley,”\* because silicon is used in the manufacturing of electronic parts.

**2** Even when he was young, Jobs showed the personality traits that helped him build one of the most successful ever companies. One of these traits was  
10 independence. As a child, Jobs preferred doing things by himself. Another was his early interest in electronics and gadgetry. He spent a lot of time working in the garage workshop of a neighbor who worked at Hewlett-Packard,\* an electronics manufacturer. Yet another was his bold self-assurance. While in high school, Jobs attended lectures at the Hewlett-Packard plant. On one  
15 occasion he boldly asked William Hewlett (1931–2001), the president, for some parts he needed to complete a class project. Hewlett was so impressed he gave Jobs the parts, and offered him a summer internship at Hewlett-Packard.

**3** Like the company he founded, Jobs was not conventional. After graduating from high school in 1972, Jobs attended Reed College in Portland, Oregon,  
20 but he dropped out after one semester. In the summer of 1974, he visited India and studied eastern religions. In 1975, after returning to California, Jobs joined a group known as the Homebrew Computer Club. One member, a technical whiz named  
25 Steve Wozniak,\* was trying to build a small computer. Jobs became fascinated with the marketing potential of such a computer. In 1976, he and Wozniak formed their  
30 own company. They called it Apple Computer Company in memory of a happy summer Jobs had spent picking apples.



**4** Jobs had realized there was a huge gap in the computer market and that his new company was in a good position to fill it. At that time almost all computers were mainframes. They were huge and very expensive. Advances

in electronics, however, meant that computer components were getting smaller and the power of the computer was increasing. So, Jobs and Wozniak redesigned their computer, with the idea of selling it to individual users. Finally, they opened an entirely new market—personal computers.

### NOTES

**Silicon Valley** サンフランシスコ郊外の盆地地帯にインテル、アップルなどの大手半導体やコンピュータ・メーカーが集中する地域で、もともと半導体の素材がシリコンであるため、このように呼ばれるようになった。現在 Google や Facebook などの IT 企業もこの地に本社を構える。 **Hewlett-Packard (HP)** 1939 年 William Hewlett と David Packard により創立された米国を代表する IT 機器メーカー **Steve Wozniak** (1950~ ) アップルの共同設立者であるコンピュータ・エンジニア。

### Reading Strategy: Skimming

文章全体にザッと目を通し、キーワードを拾いながら、文章の概要を素早く掴む読み方を Skimming (拾い読み) と言います。各パラグラフの冒頭付近に重要な情報が書かれていることが多いため、それらを拾い読みするだけで全体の概要が掴めます。

各パラグラフの概要を問う以下の問題に答え、解答につながる本文中の箇所に下線を引いてみましょう。

1. What is the main topic of the first paragraph?
  - a) Jobs's birth
  - b) Jobs's parents
  - c) The origin of Silicon Valley
  - d) The reason Jobs moved to Mountain View
2. What is the main topic of the second paragraph?
  - a) Jobs's boyhood
  - b) Jobs's high school life
  - c) The history of Hewlett Packard
  - d) The business achievement of William Packard
3. What is the main topic of the third paragraph?
  - a) The friendship with Steve Wozniak
  - b) Jobs's college days
  - c) Progress toward the present Apple Computer Company
  - d) Paths to the foundation of Apple Computer Company
4. What is the main topic of the fourth paragraph?
  - a) The recipe for the success of Apple Computer Company
  - b) The introduction of Apple Computer Company products
  - c) The history of the development of computers
  - d) The future prospects of the computer market

## Comprehension

Choose True or False for each question.

1. Silicon Valley is a center for producing silicon.
2. Jobs used to like playing with his school friends when he was a child.
3. Jobs graduated from college in Oregon.
4. When Steve Jobs set up his company, computers were too big for individual users.

T	F
---	---

T	F
---	---

T	F
---	---

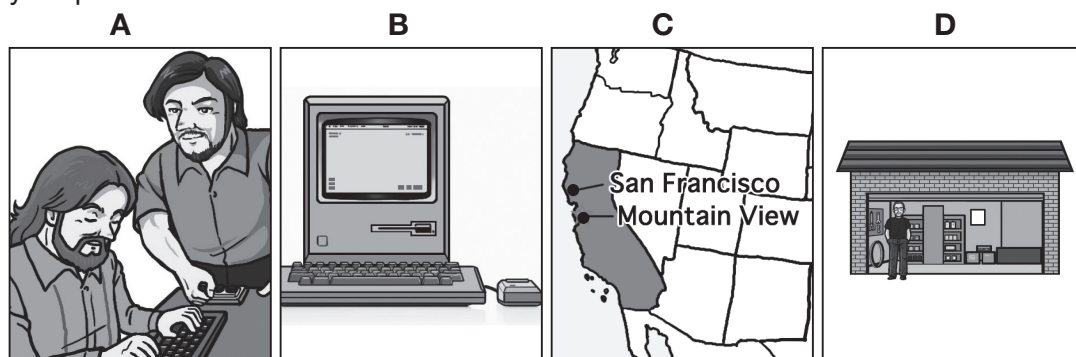
T	F
---	---

## Story Retelling



1-07

Put the following four pictures into the order in the story, and retell the story to your partner.



Steve Wozniak

Apple Computer Company

California

Garage

( ) ⇒ ( ) ⇒ ( ) ⇒ ( )

## Summary



1-08

Complete the summary with the words below the passage. Then repeat after the CD.

Steve Jobs was born / in California in 1955. / His father / was a skilled machine operator. / Even in childhood, / Jobs was [ ], / and liked to do things / by himself. / He was also interested / in electronics and gadgetry, / spending much time / in a workshop. / Jobs, however, / was a very [ ] person, / and took some [ ] action. / As a college student, / he met Steve Wozniak, / with whom he made Apple Computer Company. / They tried to sell their computers / to [ ] users, / so they set up [ ] computers / in 1976 / by use of advanced technology / in electronics.

bold, personal, independent, self-confident, individual

## ▼ Vocabulary Corner

### Gadgetry (gadget)

小型電子機器を表す語。元来は小型の道具やがらくたを指す。gadget は単体、gadgetry は総称として単数で用いられる。device と同義で使われることもあるが、device は電子機器以外の装置や手段など物体以外にも使える。

2016 年、アメリカの Time 誌の“The 50 Most Influential Gadgets of All Time”「世界を変えた歴代電子機器ベスト 50」という記事では、Apple の iPhone が第 1 位に、iPod が 9 位に輝いている。ちなみに、日本からは、2 位に Sony の Trinitron テレビのブラウン管、4 位に Sony の Walkman、10 位に日立的のハンドマッサージ機 Magic Wand (1960 年代発売) がランクインしている。